

## 金融資産の運用 県民の関心高め

三重県民は、金融資産の運用に比較的関心が高いようだ。

総務省の「家計調査」の県庁所在地別の結果から、2人以上の世帯の金融資産を2018～22年の5年分で平均すると、津市は全国6位の2074万円で、全国平均の1782万円を上回った。そのうち株式や投資信託、債券などの有価証券は346万円。横浜市、東京都区部、奈良市、神戸市、さいたま市、千葉市に続く7位で、全国平均の259万円を上回った。

津市の有価証券の内訳(21年と22年の平均)は、株式が172万円で全国11位、投資信託が146万円で8位、債券が58万円で6位。低リスクで手堅い債券の順位が高い一方、高リスクな株式も上位に迫り、多様な投資商品を保有していることが分かる。

日本の家計の金融資産の運用割合が主要各国より低く、資産の伸びも小さいとして、政府は昨年11月、家計に眠る現預金を投資に振り向けるために「資産所得倍増プラン」を策定した。本年度の税制改正では、来年1月から少額投資非課税制度(NISA)の非課税保有期間の無期限化や投資枠の拡充などの抜本的改革で、投資環境を整備する。投資が企業の成長の原資になれば、企業の価値や株価が上昇し、家計の金融資産の拡大にもつながり、好循環が期待できる。県民の関心もどう変わるのか、注目したい。

(コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 谷ノ上千賀子)

有価証券と金融資産、 年収の現在高		有価証券	金融資産 (有価証券を含む)	年間収入	※単位は万円。2018～22年の5年平均。有価証券の金額の多い順。2人以上の世帯。県庁所在地別。総務省「家計調査」から作成
	全国平均	259	1782	632	
1	横浜市	513	2287	700	
2	東京都区部	490	2405	783	
3	奈良市	453	2313	616	
4	神戸市	402	1857	612	
5	さいたま市	401	2065	775	
6	千葉市	388	2144	681	
7	津市	346	2074	628	

※グラフは中日新聞記事より転載

中日新聞「データを読む(百五総合研究所 谷ノ上千賀子さんに聞きました)」

2023年11月23日